

一、苦難の年へ二つの大会

—東京—

一月十九日から四日間、東京は九段会館で社会党大会が開かれた。

悪化の一途をたどるベトナム戦争、国内にあっては不況、物価上昇と、条件が厳しいだけに白熱した論争が行なわれた。そんな中において一段と激しかったのが委員長のイスをめぐる人事争い。

江田かそれとも佐々木か……。

舞台裏ではあの手この手の票かせぎ。

一方自民党大会の方はわずか三時間で終了。太平ムードそのものである。とにかくこの二つの大会、今後一年の厳しい情勢にどう対処して行くのだろうか。

一、ヤマのハワイ作戦

—福島—

朝もはやから

カンテラ下げてナイ

福島県の常磐市に突如としてつもなく大きな殿堂が登場しました。

これは他のヤマ同様苦境に立つこの会社が考え出した観光事業です。名付けてハワイアン・センター、採炭の際湧き出る湯を利用しての不況克服策なのです。

音楽好の元坑夫がメンバーのハワイアン・バンドは切羽で鍛えたたくましい指先でハワイアンを奏できれば、炭住の娘さん達がフラダンスを踊る。ハワイアン・センターは椰子の樹とビーチと、フラダンスと、遠くからのお客さん寄せに全てが全て、ハワイムードでいっぱい。アロハとムウムウがビーチサイドを埋めつくして、いま、はなやかなハワイムードに酔